

# ジョルダン 中間ビジネスレポート

2022.10.1 ▶▶ 2023.3.31



JORUDAN

証券コード：3710

トップメッセージ

代表取締役社長 佐藤 俊和

## MaaSインターフェイスの在り方を追求し、地域の課題解決・活性化に貢献するプラットフォームの構築を目指す

当第2四半期は、売上高では乗換案内事業で比較的大型の案件を獲得できたこと、ドローン関連サービスを展開する株式会社エアーズを連結範囲に含めたことなどにより前年同四半期から2ケタの大幅増収となり、売上増などに伴い営業利益も減益からプラスに転じました。なお、経常利益は為替差損の発生などから減益に、純損益では減損損失の発生などから当第2四半期においては損失を計上しています。

「乗換案内」の各種インターネットサービスについては、2023年3月には月間検索回数2億2,400万回、有料会員数・取り放題利用者数が合計20.1万人となり、検索回数が増加に転じるなどコロナ禍からの回復が着実に進んできている状況です。

モバイルチケットについては、普及・拡大に努め、種類・販売数は着実に増加しています。当第2四半期も内閣府沖縄総合事務局などとの連携により、沖縄県八重山地域においてバス・船乗り放題MaaSチケットの実証事業として「石垣・西表 周遊フリーパス」を販売しましたが、予定期間を残して完売するなど高いニーズを確認することができました。

また、神戸空港と関西国際空港を結ぶ高速船「ベイ・シャトル」では、2023年3月から顔認証による当社が提供するチケットレス乗船システムが導入され、多くの乗客に利用されています。当社は顔認証技術（パナソニック コネクト株式会社提供）を活用し交通機関への乗降や施設への入退の管理を実現するまちづくりクラウドサービス「JorudanStyle3.1」を提供し、従来より顔認証をMaaS実現に向けた有力な手段の一つと捉え取り組みを進めてきました。今後も自治体・交

通事業者に対し、この仕組みを積極的に提案していきたいと考えています。

さらに、乗換案内の新機能として開発した「スマートシティモード」の可能性も広がっています。「スマートシティモード」の1つである「西新宿モード」は、東京都の実証事業において、「ITのチカラで西新宿を賑わいのある街へ」をコンセプトに各種連携企業と協力体制（エコシステム）を構築し、エリア内の多彩な情報を1つのアプリによりワンストップで提供するインターフェイスとして開発しました。2回目の実証実験では、自律走行ロボットとのデータ連携など、よりバージョンアップしたものを提供しています。今後もこうした各種の取り組みを通じ、インターフェイス・データ連携基盤としての機能の高度化を図り、「人と街とのコミュニケーション活性化」の更なる実現を目指します。

また同時に、全国の自治体などに向け、「スマートシティモード」を各地域の課題やニーズに応じて柔軟にカスタマイズし、これを活用したMaaSの提案も行っています。その成果の一つとして滋賀県長浜市のDX実証実験事業における事業者を選定され、2022年10月～2023年1月にわたり「スマートシティモード」をカスタマイズした「長浜モード」によるサービスニーズの検証・分析、市内周遊観光の充実に貢献できる仕組みづくりを模索する実証実験を行いました。今後「スマートシティモード」は全国の自治体への導入拡大を目指します。

なお、通期業績については、直近の状況を踏まえて売上高30億円、営業利益1.1億円、経常利益1.3億円、純損益では0.9億円程度の損失を予想しています。

## 当中間期のトピックス

### 「乗換案内」アプリとJR東日本「えきねっと」が連携

2月6日より、「乗換案内」アプリとJR東日本が提供する「えきねっと」との連携を開始しました。「乗換案内」でJR東日本管内の東北新幹線をはじめとする新幹線や、首都圏や甲信越・東北エリアの特急を含むルートを検索すると、「新幹線・特急予約」ボタンが表示されます。表示された乗車区間や日時を保持したまま「えきねっと」に遷移するので、簡単かつ迅速に新幹線・特急列車のきっぷの予約・購入ができます。この連携により、出張や観光、帰省などの移動をより快適にサポートします。



### “ITのチカラで西新宿を賑わいのある街へ”をコンセプトに実証実験を実施

2022年より、東京都が公募する「5Gを含む先端技術を活用したスマートシティサービス実証事業」に採択され、“ITのチカラで西新宿を賑わいのある街へ”をコンセプトにさまざまな実証実験を行っています。2023年には、株式会社デンソーウェーブと連携し、西新宿において「乗換案内」アプリと「QRコード」によるQRくじキャンペーンを開催して、店舗・施設の利用促進を図りました。また、三菱電機株式会社と共に、乗換案内の経路検索データを活用したパーソナルモビリティビークル（以下、PMV）のラストワンマイル移動サービスの実証実験を実施しました。具体的には、「乗換案内」アプリから案内された移動ルートを利用者が選択することで、PMVの予約が自動実行されるとともに、PMVに移動指示データが連携され、利用者が目的地に到着する時間・場所に合わせて自動で出迎え、送迎します。このようなデータ連携を通じ、これまでにない移動体験を提供することで、利用者の利便性向上・回遊促進に貢献しました。



\*QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

### 複数の目的地の経路検索が同時にできる「旅程案内」を提供開始

3月10日より、「乗換案内」WEBサイトにて、旅程の作成を行う乗換案内の新機能「旅程案内」を提供開始しました。これまでの乗換案内は出発地から到着地までの経路の検索をサポートしていましたが、目的地が複数ある場合には、それぞれの経路検索を行う必要がありました。新たな機能である「旅程案内」では、ひとつの画面で複数の行先を検索、行先の順番を指定し、一度の経路検索ですべての目的地までの経路を検索できます。また、宿泊先の検索や登録も可能なため、宿泊を伴う旅行や出張にも便利です。作成した旅程は保存しておき、移動中に確認したり、友人、知人や同行者らと共有したりすることもできます。「旅程案内」により、より楽しい旅行、より快適な出張となるようサポートします。



### 株式会社エアーズを子会社化

2022年12月13日に、株式会社エアーズを子会社化しました。株式会社エアーズの事業は、1.ドローンスクールのフランチャイズ展開、2.ドローン関係ソリューション提供、3.ドローン販売、等で構成されています。当社グループにおいては、「乗換案内」及びMaaSの事業展開を進める中で地方自治体等との関係が構築されていることから、子会社化により、株式会社エアーズの地方自治体等向けソリューションを当社グループのソリューションとパッケージ化して提供することが可能になります。また、ドローンによる映像撮影等に関連し、当社グループが進めるインバウンドを含む観光関連の事業強化にもつながることが想定されます。加えて、ハードウェア関連の事業への進出を加速する意味で、当社グループの経営戦略にも大きく資するものと考えています。



# 四半期連結財務諸表ダイジェスト

## 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 2022年9月30日	当第2四半期 2023年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,456,386	3,940,955
固定資産	1,365,655	1,661,564
有形固定資産	530,630	834,824
無形固定資産	132,626	124,378
投資その他の資産	702,398	702,362
資産合計	5,822,041	5,602,520
<b>負債の部</b>		
流動負債	830,173	937,616
固定負債	22,447	42,989
負債合計	852,620	980,605
<b>純資産の部</b>		
純資産合計	4,969,421	4,621,914
負債・純資産合計	5,822,041	5,602,520

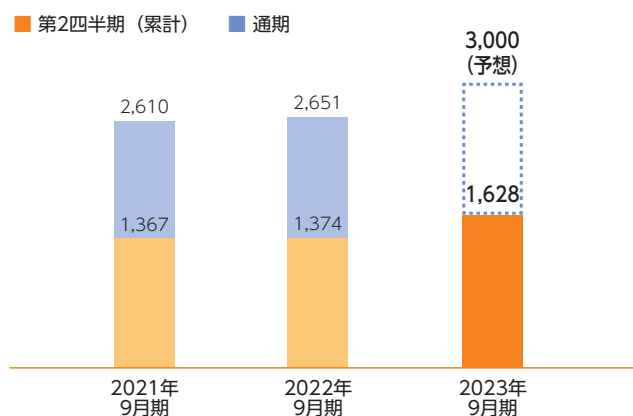
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期累計 2021年10月1日から 2022年3月31日まで	当第2四半期累計 2022年10月1日から 2023年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	97,649	56,850
投資活動による キャッシュ・フロー	△266,361	△520,326
財務活動による キャッシュ・フロー	△65,622	△100,053
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,418,443	2,981,396

## 売上高

(単位：百万円)



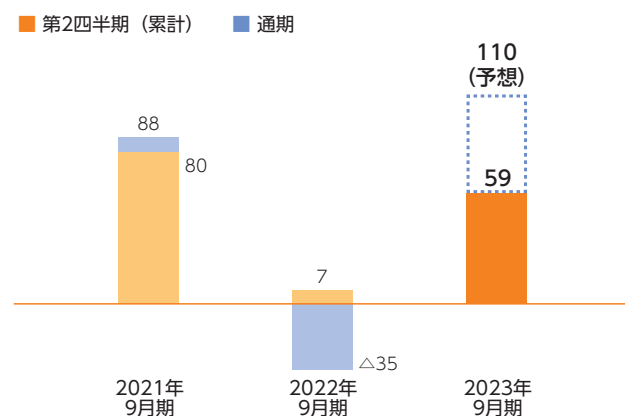
## 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期累計 2021年10月1日から 2022年3月31日まで	当第2四半期累計 2022年10月1日から 2023年3月31日まで
売上高	1,374,947	1,628,541
売上原価	712,149	886,621
売上総利益	662,798	741,920
販売費及び一般管理費	654,819	682,093
営業利益	7,978	59,826
営業外収益	102,518	29,223
営業外費用	4,503	72,163
経常利益	105,993	16,887
特別損失	17,073	235,120
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	88,920	△218,233
法人税等合計	41,868	20,266
四半期純利益又は 四半期純損失 (△)	47,051	△238,500
非支配株主に帰属する 四半期純損失 (△)	△3,181	△1,249
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	50,233	△237,250

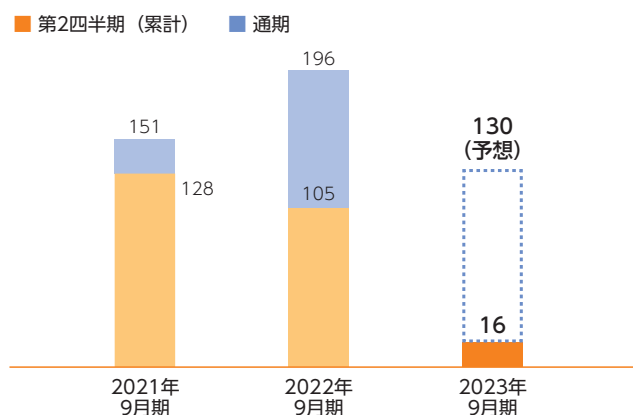
## 営業利益

(単位：百万円)



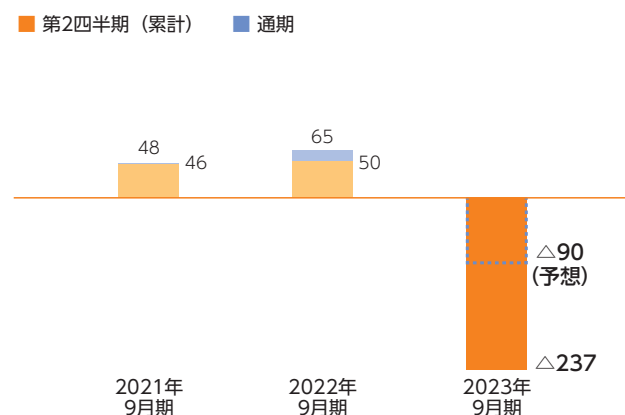
## 経常利益

(単位：百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益

(単位：百万円)



(注) 2022年9月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年9月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## スマートフォン向け「乗換案内」のご紹介



「ジョルダン」(スマートフォンサイト)  
<https://www.jorudan.co.jp/>



### 「乗換案内」(アプリ)



iOS版



※ダウンロード無料



Android版



#### アプリ内課金

1ヶ月(自動更新) : 360円  
90日 : 1,000円  
365日 : 2,900円

※すべて税込価格

## 公式SNSアカウントのご紹介

乗換案内の機能紹介、開発裏話などの記事を掲載



[https://note.com/jorudan\\_web/](https://note.com/jorudan_web/)



乗換案内の最新情報、お知らせなどを発信!



@norikae\_app

[https://twitter.com/norikae\\_app](https://twitter.com/norikae_app)



## 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 ジョルダン株式会社  
(Jorudan Co.,Ltd.)  
本社所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10  
設立 1979年12月  
資本金 2億7,737万5,000円  
従業員数 連結207名、単体149名

## 主要な子会社 (2023年3月31日現在)

コンパスティビー株式会社  
事業内容: 広告代理業

ゼストプロ株式会社  
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

イーツアー株式会社  
事業内容: インターネットによる旅行商品の販売

株式会社悟空出版  
事業内容: 出版業

株式会社ジェイフロンティア  
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

J MaaS株式会社  
事業内容: ICTを活用した移動手段の手配・販売・提供サービス

若尔丹(上海)軟件開發有限公司  
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

杰昱(上海)信息技術有限公司  
事業内容: ハードウェアの販売・保守

株式会社エアーズ  
事業内容: ドローン事業

## 株主優待のご案内 乗換案内PREMIUM(株主優待版)

### 対象になる株主様は?

・9月末と3月末に当社株式100株以上お持ちの方

### いつ届くの? いつから使えるの?

・12月末お届け(翌年1月1日~6月30日の間有効)  
・6月末お届け(7月1日~12月31日の間有効)

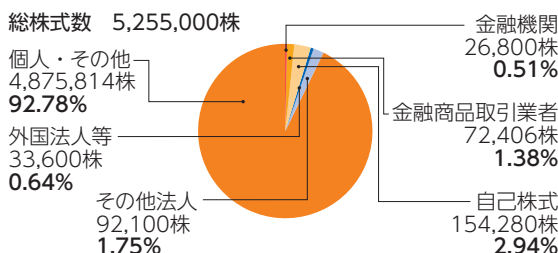
### どんな機能が使えるの?

・PCで無料版にはない多彩な経路検索  
・スマートフォン向け有料サービスも利用可能

## 株式状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数..... 19,000,000株  
発行済株式総数..... 5,255,000株  
株主数..... 4,749名

## 所有者別株式分布状況 (2023年3月31日現在)



## 株主メモ

- 事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
- 定時株主総会 毎年12月
- 基準日 毎年9月30日
- 配当金受領株主確定日 9月30日及び中間配当を実施する場合は3月31日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL <https://www.jorudan.co.jp/ir/>
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先

